



令和5年度「ぎのわん教育の日」表彰式

11/2(木)消防本部講堂において、令和5年度「ぎのわん教育の日」表彰式が執り行われ、功労賞部門9件、活躍賞部門5件が表彰されました。「ぎのわん教育の日」は、市民の教育に対する関心を高め、理解を深めるとともに、本市教育の充実発展を図ることを目的として平成27年に制定されており、毎年11月1日を「ぎのわん教育の日」、11月を「ぎのわん教育月間」として、期間中は家庭・学校・地域・社会全体で教育に対する気運を高めるため様々な取り組みを行っています。



— 令和5年度表彰者(敬称略) —

- | 功労賞部門9件 (8名 1団体) | | | |
|------------------|-----------------------|---------|--------|
| ●新垣 善章 | ●島袋 友子 | ●比嘉 さやか | ●伊集 朝彦 |
| ●宜野座 晃 | ●島袋 綾子 | ●仲宗根 清茂 | |
| ●新垣 トシエ | ●「ふたごぶんこ」安仁屋 眞昭・桃原 和子 | | |

- | 活躍賞部門5件 (2名 3団体) | | |
|------------------|--------|-----------|
| ●中島 璃斗 | ●照屋 太晴 | ●長田小学校将棋部 |
| ●宜野湾ベースボールキッズ | | |
| ●嘉数小学校音楽部 | | |

11/14 心より感謝申し上げます 消火活動に対する感謝状贈呈式



消防本部にて、池田悟さんへ感謝状の贈呈式が行われました。池田さんは、令和5年4月に真栄原で発生した火災事案において、初期消火活動を実施しました。その迅速な消火活動によって消防隊到着時には炎は消えており、火災による被害拡大を防ぐことが出来ました。表彰を受け、池田さんは「何よりも周辺が住宅街でしたので、被害を抑えることができて本当に良かったという思いです」と話しました。

11/22 積み重ねた努力で優勝目指す 第32回全国小学生バドミントン大会出場報告



小学生バドミントンクラブ「宜野湾ジュニア」の関係者が市役所を訪れ「第43回新報児童オリンピック大会」に出場した6名(ダブルス3組)が上位に入賞し、「第32回全国小学生バドミントン選手権大会」への出場権を獲得したことを報告しました。長田小6年の屋嘉比奏風さんは「私たちは、日々優勝に向けて努力しているので、応援をよろしく願っています」とあいさつしました。

11/9 子どもたちがお腹いっぱい食べられるように 大同火災海上保険株式会社 お米贈呈式



宜野湾市社会福祉協議会へ、大同火災海上保険株式会社より125袋のお米が寄贈されました。同社は、平成2年から令和2年まで延べ1,000台の車椅子を寄附してきました。大同火災営業第二部長の仲間友作さんは「これまで、車いすの寄贈を行ってきましたが、最近の地域課題である“こどもの貧困”の解決のお手伝いができればと思い、今回、お米の寄贈をさせていただき運びとなりました」とあいさつしました。

11/11 地域リーダーとしての視点や資質を養う ぎのわん地域づくり塾2023 最終発表会



10/7(土)から全8回の日程で実施されてきた「ぎのわん地域づくり塾2023」の最終発表会が、市社会福祉センターで開催されました。企画運営のNPO法人まちなか研究所わくわくの宮道喜一事務局長は「地域が抱える課題や解決策を模索していく中で、地域リーダーとしての視点や資質が養われたものと思います。今回学んだことをもとに、今後も地域に関わっていただきたいです」と総評しました。

10/31 民俗芸能の魅力を伝える 我如古スンサーミー保存会 九州派遣



我如古スンサーミー保存会(上間榮子会長)の皆さんが市役所を訪れ「第65回九州地区民俗芸能大会」において我如古スンサーミーが沖縄県代表として公演決定したことを報告しました。我如古スンサーミーは、豊年と子孫繁栄を願って行われる女性の踊りで、市指定の無形民俗文化財です。上間会長は「これからも我如古のスンサーミーを継承していくために、頑張ってください」と話しました。

11/1 一人でも多くの方々に伝えるために 第55回女性の主張中央大会 県知事賞受賞



宜野湾市女性連合会会員の与那城千恵美さんと役員の皆さんが市役所を訪れ「第55回女性の主張中央大会」において、与那城さんの「普天間の母親が感じる「ホントの平和」とは」を題材にした発表が、沖縄県知事賞を受賞したことを報告しました。与那城さんは「普天間を取り巻く状況が一人でも多くの方々に伝わればと思い、取り組んでまいりました。受賞するとは思ってなかったのですがとても嬉しいです」と話しました。

11/7 温かいご支援、ありがとうございます 那覇空港ビルディング株式会社寄附金贈呈式



市役所において、那覇空港ビルディング株式会社(安里昌利代表取締役社長)から1,000万円の寄附金が贈呈されました。今回のご寄附は「企業版ふるさと納税」制度を活用しており、本市と琉球大学が連携して取り組む沖縄健康医療拠点の形成に向けた支援を目的とした寄附となっています。安里社長は「市と琉球大学が取り組む沖縄健康医療拠点の更なる発展に寄与し、長寿の島復活の一助となれば幸いです」と語りました。

10/30 皆で楽しみ食文化に触れる 特別給食 シイラ(マンビカー)の姿揚げ



志真志小学校、長田小学校の6年生を対象に、特別給食「シイラの姿揚げ」が提供されました。届けられたシイラが姿を現すと、待ち遠しくしていた児童の皆さんから大きな歓声が上がりました。県産のシークワサーを使用した特性ソースがかかった巨大シイラに、児童からは「少し酸っぱい感じが美味しい」や「水族館で見るような魚でびっくりした」などの感想が寄せられ、あっという間に完食するほど大盛況でした。

10/31 うちなあぐちの継承に貢献 沖縄県しまくとぅば普及功労者受賞



宜野湾市うちなあぐち会の関係者が市役所を訪れ「令和5年度沖縄県しまくとぅば普及功労者」に、会員として熱心に学習し、活動してきた金城明美さん、大城宏予さんが表彰されたことを報告しました。金城さんは「このような立派な賞を受けることが出来て恐縮です」と話し、大城さんは「先生の“うちなあぐちの継承をしていく”という志の一端を担えるよう励んでまいります」と語りました。

10/31 探検私たちのまち!がねじたんけんたい! 我如古児童センター 県警本部長賞受賞



我如古児童センターの児童、職員の皆さんが市役所を訪れ、県主催の「第17回 沖縄県子ども地域安全マップコンテスト」において県警本部長賞(低学年の部)を受賞したことを報告しました。がねじたんけんたいの皆さんからは「大変だったけど楽しかった」「危険な場所や安全な場所が分かったから、危険な場所には近づかないようにしようと思った」と、マップを作成してみたの感想を話しました。